

石崎光瑤展関連展示

第1部 異国への眼差し

第7展示室 2025年1月4日(土)-2月16日(日) 期間中展示替えがあります。

No.	作者名	生歿年	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)	展示期間	
							1/4-1/23	1/24-2/16
1	狩野永納	1631 - 1697 (寛永8 - 元禄10)	蘭亭曲水図屏風	17世紀後半(江戸時代前期)	紙本金地着色	各 153.5 × 359.0	○	○
2	狩野永岳	1790 - 1867 (寛政2 - 慶応3)	四季耕作図屏風	19世紀(江戸時代後期)	紙本金地着色	各 163.5 × 357.4	○	○
3	平井顕斎	1802 - 1856 (享和2 - 安政3)	耕織図	1845(弘化2)	紙本着色	各 151.6 × 74.4	○	
4	山本栞谷	1811 - 1873 (文化8 - 明治6)	無逸図	1869(明治2)	絹本着色	各 167.7 × 86.1	○	
5	伊藤若冲	1716 - 1800 (正徳6 - 寛政12)	樹花鳥獸図屏風	18世紀後半(江戸時代後期)	紙本着色	右 137.5 × 355.6 左 137.5 × 366.2		○
6	伊藤若冲	1716 - 1800 (正徳6 - 寛政12)	白象群獣図 ※	18世紀後半(江戸時代後期)	紙本着色	122.9 × 73.1	○	○
7	宋紫石	1715 - 1786 (正徳5 - 天明6)	富嶽図 ※	18世紀後半(江戸時代後期)	絹本着色	58.6 × 131.3	○	○
8	司馬江漢	1747 - 1818 (延享4 - 文政1)	駿州薩陀山富士遠望図	1804(文化1)	絹本油彩	78.5 × 146.5	○	○
9	司馬江漢	1747 - 1818 (延享4 - 文政1)	七里ヶ浜図 ※	1800頃(寛政末頃)	絹本着色	54.0 × 79.3	○	○
10	大久保一丘	? - 1859 (? - 安政6)	富嶽明暁図	19世紀前半(江戸時代後期)	絹本着色金泥引	95.2 × 48.9	○	○
11	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):品川 日之出	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.1 × 37.8	○	
12	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):戸塚 元町別道	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.5 × 38.3	○	
13	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):平塚 縄手道	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.5 × 38.6	○	
14	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):御油 旅人留女	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.5 × 38.6		○
15	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):鳴海 名物有松絞	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.7 × 38.6		○
16	歌川広重	1797 - 1858 (寛政9 - 安政5)	東海道五拾三次(保永堂版):関 本陣早立	1833頃(天保4頃)	紙、木版、色摺	25.6 × 37.8		○
29	椿椿山	1801 - 1854 (享和1 - 嘉永7)	山海奇賞図巻	1830(文政13)	紙本淡彩	13.5 × 466.5	○	○
30	岡田半江	1782 - 1846 (天明2 - 弘化3)	洋人富士山遠望図屏風 ※	19世紀(江戸時代後期)	紙本墨画	各 156.5 × 349.0	○	○
31	狩野(勝川院)雅信	1823 - 1879 (文政6 - 明治12)	伊豆浦黒船来港図 ※	1854(嘉永7)	紙本墨画淡彩	32.7 × 56.7	○	○
32	菊池容斎	1788 - 1878 (天明8 - 明治11)	蒙古襲来之図	1862(文久2)	絹本淡彩	161.2 × 83.2	○	○

名品コーナー (1階エントランス) 2025年1月4日(土) - 2月16日(日)

No.	作者名	生歿年	作品名	制作年	材質、技法	寸法 (cm)
1	秋野不矩	1908 - 2001 (明治 41 - 平成 13)	廻廊	1984 (昭和 59)	紙本金地着色	151.3 × 101.0
2	須田国太郎	1891 - 1961 (明治 24 - 昭和 36)	筆石村	1938 (昭和 13)	キャンヴァス、油彩	97.0 × 145.5
3	伊藤 隆史	1933 - 1997 (昭和 8 - 平成 9)	壁ノ鳥	1958 (昭和 33)	合板、油彩	94.5 × 68.0

※のついている作品は個人蔵、それ以外の出品作品は全て静岡県立美術館の所蔵品です。

予定していた No.17 ~ 28 安田雷洲《東海道五十三駅》の展示は事情により取りやめとなりました。その他、事情により出品作品が変更となる場合があります。